

海外安全対策情報（平成29年度第1四半期（4月～6月））

在ベトナム日本国大使館

1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会秩序を不安定にするような暴動、テロ、大規模なデモなどの発生は確認されていない。
- (2) 殺人、強盗、麻薬の密輸、人身売買事案など重大凶悪事件の発生や検挙は当地マスコミ媒体などにより日々報道されている。在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置き引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が当館に報告されており、一般治安状況については十分な注意を要する。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事からハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。（平成29年3月～5月実績）

【刑法犯関係】

- ア 刑法犯発生件数：1200件
- イ 刑法犯検挙件数：919件
- ウ 刑法犯検挙人員：1314人

【薬物犯罪関係】

- ア 薬物犯罪検挙件数：689件
- イ 薬物犯罪検挙人員：851人

【交通事故関係】

- ア 事故発生件数：355件
- イ 事故死亡者数：134人
- ウ 事故負傷者数：315人

- (2) 邦人被害事案

- ア 4月中旬、ハノイ市内旧市街地において、在留邦人が地元レストランで精算中にチャックの開いた状態のバッグからスマートフォンが盗まれる窃盗被害が発生している。
- イ 4月下旬、ハノイ市内において、観光に訪れていた邦人が、飲食店から出た直後、女性から抱きつかれ、その隙に所持していた財布を盗まれる窃盗被害が発生している。
- ウ 5月中旬、ノイバイ国際空港において、観光に訪れた邦人が、目を離している隙に、身辺の近くに置いていた荷物を盗まれる窃盗被害が発生している。

- (3) 邦人以外の被害事案

- ア 5月29日、ベトナム北西部ホアビン省総合病院で人工透析治療を受けていた慢性腎不全患者18人がアナフィラキシーショックと見られる症状を起こして8人が死亡する事件が発生している。なお、この事件の発生を受け同省警察は、6

月22日、関係者ら3人を逮捕した。

イ 公安省交通警察局の統計によると、南部解放記念日（4月30日）とメーデー（5月1日）に伴う4月29日から5月2日までの4連休の期間中、ベトナム全国で発生した交通事故件数は125件（前年同期比-17.8%）で、死者数は98人（前年同期比-11.7%）、負傷者は90人（前年同期比-34.8%）であった。また、4連休中に全国の交通警察が検挙した道路交通法違反件数は、2万2190件、押収した自動車は98台、バイクが3598台で、免許停止件数は1012件となっている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生については認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。

なお、当地報道によれば当地報道によれば他国の企業に対するストライキなどの労使紛争は発生している。